

令和2年度行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	地方へのサテライトキャンパス設置に関する調査研究事業			担当部局庁	内閣官房副長官補		作成責任者		
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	令和元年度	担当課室	まち・ひと・しごと創生本部事務局		参事官 山下 洋		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—			関係する計画、通知等	まち・ひと・しごと創生基本方針2019 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」				
主要政策・施策	地方創生			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東京圏の大学の地方へのサテライトキャンパスの設置は、東京圏・地方圏の学生の対流や学生の地元定着の促進、新たな地域の拠点等の役割がある。平成30年度において実施したサテライトキャンパスを推進するための調査研究の内容を踏まえて、実際にマッチングを支援するための仕組みを構築する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	サテライトキャンパスの設置に向けた地方公共団体と大学等との連携の促進のため、双方が共有できるポータルサイトを構築する。このポータルサイトに、地方公共団体が求めている分野や可能な支援内容、大学側の構想等、双方のニーズやマッチングに必要な情報を収集・集約する。 【地方へのサテライトキャンパス設置等に関するマッチング支援事業(内閣府新02-0009)】								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	10	20	0	0		
	執行額	0	9	20					
	執行率(%)	-	90%	100%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	90%	100%					
	令和2・3年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由				
-	-	-	-						
計	-	-	-						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標最終年度	
				成果実績	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック									
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績				
		本事業は、東京圏の大学等の地方へのサテライトキャンパス設置のニーズ・条件等の把握や、既存の取組の課題の整理等の調査を実施し、マッチングを支援する事業であるため、定量的な成果目標の設置は困難である。			平成30年度に行った調査研究によって得られた成果をサテライトキャンパス設置の推進等に活用するため、マッチングを支援するためのポータルサイトに反映させた。				
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標最終年度
		地方へのサテライトキャンパス設置に関する調査を実施する。	調査対象の大学等及び各道府県市町村に調査を依頼し、その回答数を実績値とする。	実績	件	-	1,240	823	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	調査実施の対象件数	実績	件	-	1,240	823	-	-
			目標値	件	-	1,572	2,063	-	-
			達成度	%	-	79	40	-	-
			当初見込み	件	-	1,572	2,063	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	データ作成・ポータルサイト作成	実績	式	-	-	1	-	-
			目標値	式	-	-	1	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
			当初見込み	式	-	-	1	-	-
単位当たりコスト	算出根拠	予算額/調査の実施	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
			単位当たりコスト	百万円	-	9	-	-	
			計算式	百万円/式	-	9/1	-	-	

単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込			
	予算額/マッチング支援ポータルサイト作成			百万円	-	-	20	-		
	計算式		百万円/式	-	-	20/1	-			
政策評価	政策施策									
		定量的指標								
	測定指標			実績値	-	-	-	中間目標年度	目標年度	
				目標値	-	-	-	-	-	
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
									施策の進捗状況(実績)	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	-									
	新経済・財政再生計画との関係	取組事項	分野:	-						
			KPI (第一階層)			単位	計画開始時年度	元年度	2年度	中間目標年度
		成果実績		-	-	-	-	-		
		目標値		-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
KPI (第二階層)				単位	計画開始時年度	元年度	2年度	中間目標年度	目標最終年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										
-										
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	国の重要施策である地方創生の推進において、地方への新しいひとの流れをつくる一環としての施策であり、社会のニーズを的確に反映している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国の重要施策である地方創生の推進にかかる政策の策定、推進に必要な調査を行い、地方公共団体と大学等を繋ぐ支援事業として国費をもって優先的に実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	地方へのサテライトキャンパス設置は、学生の地元定着の促進や、新たな地域の拠点となることが期待されていることから、本事業は、政策目的の達成に向けて、必要かつ適切な支援事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	競争性の確保のため、支出先は一般競争入札(総合評価落札方式)により実施。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有	一者応札となったが、十分な公告期間を設け、入札説明会には複数社参加するなど取りうる手段は講じており、適切な対応をしている。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	必要最小限のコストで事業を実施している。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	目的を達成するために必要な経費内で事業を実施している。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-	-						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			△	調査研究においてまとめた項目をもとに、大学等及び地方公共団体に調査を依頼したが、マッチング支援ポータルサイトの掲載を未登録及び非公開とする回答が多かった。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	調査研究においてまとめた項目をもとに、大学等及び地方公共団体に調査を依頼し、得られた回答を構築したマッチング支援ポータルサイトに反映した。					
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	調査研究においてまとめた項目をもとに、大学等及び地方公共団体に調査を依頼し、得られた回答はマッチング支援ポータルサイトの情報として活用した。						
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-						

点検・改善結果	点検結果	前年度の調査研究において得た情報をもとに調査項目を定め、大学等及び地方公共団体に調査を依頼した。その情報をマッチング支援ポータルサイトに反映させ、双方のニーズやマッチングに必要な情報を収集・集約し、サテライトキャンパスの設置に向けた地方公共団体と大学等との連携の促進に資する事業となった。
	改善の方向性	前年度の調査研究においてまとめた項目をもとに、大学等及び地方公共団体に調査を依頼したが、マッチング支援ポータルサイトへの掲載を未登録及び非公開とする回答が多かった。今後、掲載されていない大学等及び地方公共団体に対し、登録及び公開をしていただけるよう、本サイトの有用性や先事例などを展開し事業の促進を図る。 なお、令和2年度より、内閣府において事業を実施する。

外部有識者の所見

どのような根拠でこうした事業を考えたのか。いささか安易ではないかと危惧を持つ。事業は単なる思いつきではないという「エビデンス」を示して欲しい。地方の視点、考えを持っているのか。

行政事業レビュー推進チームの所見

外部有識者の所見を踏まえ、事業終了後、早急に実効性の高いフォローアップに努め、事業の有効性・成果について適切かつ明確になるよう検証し、今後の同種事業実施につなげるべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2017改訂版)平成29年12月閣議決定」において、「東京圏の大学の地方へのサテライトキャンパスの設置(廃校舎等の活用を含む)を促進する。」という内容が盛り込まれた。それを踏まえ、平成30年度に「サテライトキャンパス設置に関する研究会」を有識者のもと3回開催し、既存の取組を分析するとともにサテライトキャンパスを望む地方公共団体側と大学側の意向等のニーズを把握し、マッチングする仕組み等を検討した。さらに、地方公共団体及び大学からも双方の情報が共有できるシステム構築の要望もあり、事業を進めてきたところである。今後も構築したポータルサイトを利活用し、地方公共団体及び大学からの問合せや相談に対し支援を実施する。

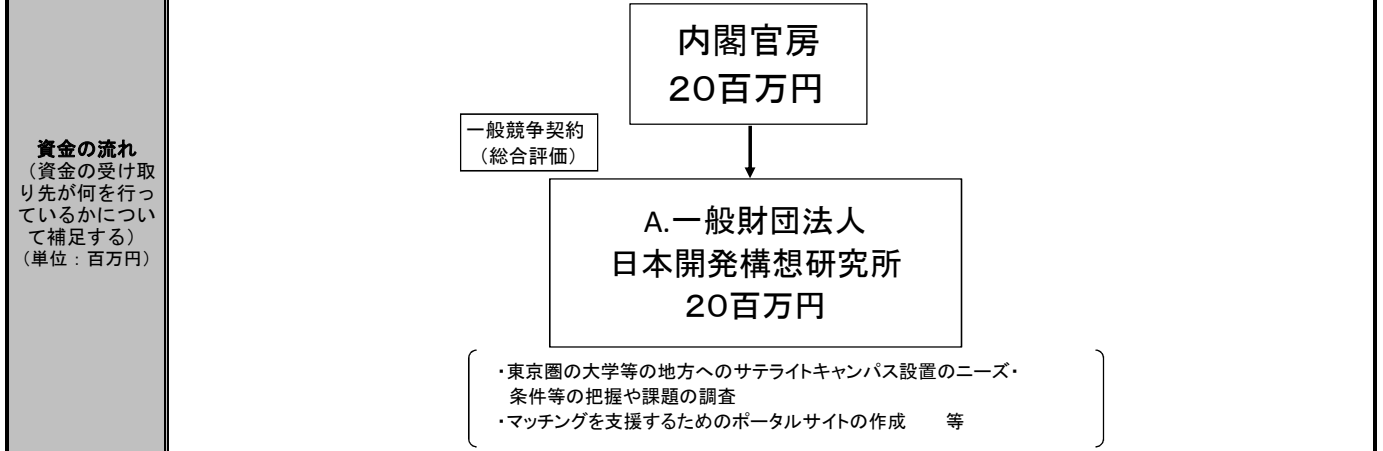
備考

マッチング支援ポータルサイトのURL: <https://www.satemachi.go.jp/>

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度	内閣官房(新30-0006)						
平成31年度	内閣官房 (0012)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



A.一般財団法人 日本開発構想研究所					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
調査謝金	東京圏の大学等の地方へのサテライトキャンパス設置に関する調査研究業務	19.9			
計		19.9	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1 一般財団法人 日本開発構想研究所	2010405000906	東京圏の大学等の地方へのサテライトキャンパス設置に関する調査研究業務	19.9	一般競争契約 (総合評価)	1	-	予定価格が類推される恐れがあるため、落札率は記載していない